TOKUYAMA
トクヤマグループ

セメント系無収縮材

セメント系無収縮グラウト材 NEXCO試験法312-1999準拠

グラウトミックス

グラウトミックスシリーズ

グラウトミックスは「構造物施工管理要領:東・中・西日本高速道路(株)」に定める品質基準を満足するプレミックスタイプの無収縮グラウト材です。耐震補強工事をはじめ機械基礎、逆打ち充填、鉄骨ベース等、さまざまな分野における高精度なグラウチングニーズに対応します。

登録番号	0310003
放散等級区分表示	F☆☆☆☆

特　長

1 **無収縮**
特殊膨張材が配合してありますので、材齢経過にともなう収縮がありません。(乾燥収縮を除く)

2 **高流動性**
優れた流動性により、空隙にも充てんできます。

3 **ノンブリーディング**
ブリーディングがないので硬化後の空隙が発生しません。

4 **高強度および高接着性**
高強度を発現し、また接着性にも優れています。

5 **非金属系骨材**
非金属系骨材を使用しているため、錆が発生しません。

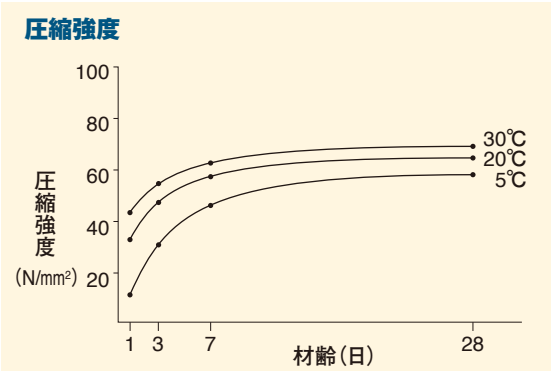
物 性〈試験結果(写)〉(試験：NEXCO試験法312-1999)

試験項目		単位	試験値	試験法規格値
コンシステンシー(J14ロート)		秒	8.1	8±2
ブリーディング		%	0	2.0以下
凝結時間	始　発	時間-分	6-00	1以上
	終　結	時間-分	7-05	10以内
無収縮性	材齢7日	%	+0.99	無収縮であること
圧縮強度(水中20℃)	材齢3日	N/mm²	50.2	25以上
	材齢28日	N/mm²	70.9	45以上
鉄筋とモルタルの付着強度(材齢28日)		N/mm²	3.70	3以上

建材試験センター　中国試験所

※試験値はあくまで測定例です。

温度変化による物性(測定例)



株式会社トクヤマ エムテック

使用方法　詳しくはグラウトミックス施工要領書をご覧ください。

1 下地処理

①コンクリート表面にレイタンス、汚れ、油分等があれば全て取り除き、湿潤状態に保つように水打ちを行ってください。
②打ち水が乾燥しやすい場合やコンクリートとの接着強度が重要な場合は、キープジョンの5倍希釈液を150g/m²程度塗布してください。
③型枠は、グラウトミックスの注入（または流し込み）圧に耐えられるように強固に組み立てるとともに、漏れがないよう隙間には硬練りモルタル、または発泡ウレタンを使用してシールを施してください。

2 練り混ぜ

①練り混ぜ水量は、1袋あたり4.0～4.5ℓの範囲でJロート試験の結果が規定値内になるように調整してください。
②練り混ぜ水は、冷水・温水を用いて、練り上がり温度が10～35℃になるように調整してください。
③材料投入終了後、2分～3分間練り混ぜてください。アルミ製のかく拌羽根を用いると異常膨張をする恐れがあるため使用は避けてください。
④1回の練り混ぜ量は、20分以内に使い切る量としてください。

グラウトミックス	1袋（25kg）
水量	4.0～4.5ℓ
Jロート	8±2秒
練上り量	約13 ℓ/袋
使用量	約75袋/m³
単位容積質量	約2.2kg/ℓ

3 注入・仕上

①注入方法には流し込み、ポンプによる圧入があります。
②流し込みは片側から連続して行ない、流出側からグラウトミックスがあふれるまで注入してください。また、ポンプによる圧入の場合は、最上部に空気抜き等を設け、確実に上面まで充てんされたことを確認してください。
③注入後、露出面の仕上げはグラウトミックスが締まってきたころにキープジョン5倍希釈を噴霧しコテ押えをして仕上げてください。

4 養　生

①表面クラックを出来るだけ防止する為、施工後は表面養生を必ず行い、急激な乾燥を避けてください。
②注入後には、振動を与えないようにしてください。

関連商材

無収縮グラウト材

セメント系
無収縮モルタル材
パッドミックス

セメント系
無収縮グラウト材[低熱タイプ]
グラウトミックスL

車載プラント
供給システム
生グラウト

断面修復材

断面修復用
ポリマーセメントモルタル
リペアミックス

セメント系
断面修復材
リペアミックスJ1

超速硬モルタル/コンクリート

超速硬
高靭性モルタル
オートモルスーパー

超速硬
プレミックスコンクリート
JCパック

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害（呼吸器系）。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系・腎臓）。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
【保　管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。
【廃　棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

⚠注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気のよい場所で保管すること。

カタログに関する注意事項
・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社トクヤマ エムテック
URL https://www.k-tokuyama.co.jp

ISO 9001 JTCCM QSCA RQ 1957 MS CM015
（認証範囲）https://www.jtccm.or.jp/

本社・東日本営業Gr		103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F TEL 03-6265-1075　FAX 03-6265-1073
中日本営業Gr		573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770　FAX 072-857-1125
西日本営業Gr	中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1（株）トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201　FAX 0834-62-7202
	九州営業所	812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070　FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材開発センター		299-0268 千葉県袖ケ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770　FAX 0438-60-8370

工　場 / 枚方工場（大阪）　袖ヶ浦工場（千葉）　九州製造拠点:（株）熊本硅砂鉱業（熊本）

販売店

2023.11.1000 第23版